

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学 校 名 金 沢 市 立 伏 見 台 小 学 校
(※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒921-8151

石川県金沢市窪5丁目335

E-mail fushimidai-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/fushimidai-e/

幼児児童生徒数 男子 333名 女子 326名 合計 659名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「世界伏見発見！～関わろう、地域と人と自然と～」をテーマとし、平成23年度よりユネスコスクールとして活動している。環境や伝統・文化、福祉、国際理解を各学年のテーマとし、全校で持続発展教育の実践に取り組んでいる。

1年「しぜんとなかよし」 ～地域の自然～ 46時間	校地や校区内の自然を観察し、自然のものを使った遊びや創作活動を通して、身近な自然に対して関心を持ち、その変化に気付く。
2年「町をたんけん 大はっ見」 ～人との関わり～ 26時間	自分たちの住む町を探検することで、校区の自然に親しむと同時に、町の人と様々な関わりを持つ中で自分たちの町の良さに気付く。
3年「わくわく竹探検隊」 ～地域の自然～ 27時間 「和菓子を学ぼう」 ～人との関わり (和菓子職人)～6時間	校区内の竹林を訪れ、筍掘りや竹林の整備などを体験し、竹細工や竹を使った遊び等を地域の人から学び、地域の自然を生かしてきた知恵に気付く。 伝統ある金沢の和菓子について調べることや、和菓子作りの見学や体験を通し、情緒豊かな生活風習の良さや和菓子に込められた和菓子職人や金沢の人々の思いに気付く。

<p>4年「心のドアをノックして」 ～人との関わり (高齢者)～ 27時間</p>	<p>地域の高齢者との2度に渡る交流を通して、自分たちができることを考え、協力して計画実行していく中で、自分の成長や相手への思いやりの大切さに気づき、人と人との関わりについて調べ、考えたことを発信する。</p>
<p>5年「マイ・リバー 伏見川」 ～地域の自然～ 49時間</p>	<p>校区内を流れる伏見川に生息する生物の調査・観察等を通して、川の環境や恵みについて知り、川と地域の人々との関わりについて理解し、自分の考えを持ち、その思いを発信する。</p>
<p>6年「世界と手をつなごう」 ～国際理解～ 70時間</p>	<p>地域に住む外国の方とふれあい、外国人の生活や文化について調査し、日本の文化との違いや共通点をまとめ、未来都市金沢をめざして、考えを発信する。</p>



1年



2年



3年



4年



5年



6年



金沢「絆」活動における「金沢子どもかがやき宣言」
に基づく活動としての「花いっぱい運動」

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

水生生物を表示した下敷き
資料として、各テーマに合った書籍やパンフレットを活用している。(校内のものや、金沢市立玉川子ども図書館及び他の公立図書館の書籍類、インターネットで閲覧可能なサイト)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1・2年では、生活科の時間に、3～6年では、総合的な学習の時間に位置付け、実施されている。学習の対象として、環境（自然）、伝統・文化、福祉、国際理解という領域を設定している。身近な自然、校区に住む人や施設、さらには石川県や外国のことなど、対象は児童の生活や学びの広がりに応じて自ら考えていけるように、身近なことから系統的に発展していくように設定している。年度末に各学年の報告を全体研究会にて行い、成果や課題、申し送り事項を確認し、次年度の方向性を話し合っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度始めに活動の全容を確認し、各学年で ESD カリキュラムと ESD カレンダーを作成している（加筆、修正）。その後、各学年の発信時期と内容（方法）、その相手の確認を行い、適正な時期での発信を実施している。年度末には、各学年の報告を全体研究会にて行い、次年度、誰がどの学年を担当しても内容が分かるようにし、よりよく継続していけるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年度末の報告を全体研究会にて行い、各学年の成果と課題を報告し、評価に当てている。成果としては、学年を追う毎に関わる対象が広がることで、より良い社会にしていきたいという想いは、学年に応じて付いてきている。また、普段では得難い多くのことを様々な交流や自然から学ぶことができ、人や自然と関わることのすばらしさに気付くこともできた。学習で得たことや想いを発信し、他の考えも取り入れ、今後の在り方を考えることもできてきている。課題としては、交流相手との打ち合わせ、年々変わる状況の中での交流の継続、自然との関わりの難しさが挙げられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

各学年が各自や各グループでそれぞれのテーマについて調べ、考えてまとめたことを保護者や交流相手や地域の人々に参観等で発表する形で発信している（今年は、大雪のため、参観ができず、他学年への発表となった）。また、掲示等も行い、いつでも成果が見られるようにしている。

毎年発信することで、地域の方の協力が得られやすくなっており（特に2年生の活動）、毎年続けることで、児童も見通しを持つこともでき、より良い活動につながっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

公的機関やそこからの紹介で専門の方とつながることもできており、それを次年度へ伝え、他の機関等とのつながりを継続していきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

金沢の自然に関し、同じテーマや同じ素材を扱っている学校が複数あり、共同でという話もあったが、実現には至っていない。しかし、今後、共同で研究していくことも充分考えられる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

毎年行うことで、児童が何年になったらこれをして、という見通しが持っており、次年度の活動へスムーズに入れている。また、保護者や地域の方も、そろそろこの活動があるなど用意や準備を整えてくださったりしているテーマもあり、支援のボランティアも快く引き受けてくださっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度の活動を継続することを基本とするが、さらに、「金沢ふるさと学習」の内容との兼ね合いについて検討中である。